

# グローバル時代の人権を考える 社会権は本当に確立しているか？

講師 竹内章郎・岐阜大学教授  
(地域科学部教授)



たけうち あきろう

社会科学、生命倫理学、障がい者論  
一橋大学社会学部卒業、  
同 大学院社会学研究科  
博士課程単位取得  
現在：岐阜大学地域科学部教授  
いぶき福祉会理事

## 主な著書

『「弱者」の哲学』 大月書店  
『平等論哲学への道程』 青木書店  
『いのちの平等論』 岩波書店  
『平等の哲学』 大月書店  
『哲学塾 新自由主義の嘘』 岩波  
『哲学する (父) たちの語らい、  
ダウン症・自閉症の (娘) との暮  
らし』 生活思想社  
『社会権』 大月書店

## 人権を実現するもの

さまざまな格差の拡大や社会保障の一層の削減だけでなく、辺野古での強制的基地造成や憲法改悪の動き、更には新自由主義の浸透によって私達庶民の暮らしは脅かされ息苦しい状況は常態化しています。

こうした危機的状況に対抗するための「武器」として、人類が獲得してきた人権をはじめとする権利論があるはずですが、

しかし、2016年夏の津久井やまゆり園事件(元職員植松聖が19人を殺傷した)での、人を人とも思わない犯人の言動やこれに賛意を示すネット上の反応を典型として、人間の権利ですら蔑ろにされる事態も其処かしこに見られます。

何故、こんなことになってしまっているのでしょうか？

為政者や権力者側の無軌道ぶりと言うまでもありませんがこれ等に真に対抗する上で私達庶民の側にも人権などの権利の根本の理解に弱点があったのではないのでしょうか？

私は市民権と社会権とに区別される権利論のこれまでの把握に問題があるのではないかと、特に主に社会保障権と労働権からなる社会権の本当の姿が捉えられてなかった問題があるのではないかと考えています。

- 司会・赤石憲昭  
日本福祉大学准教授・哲ゼミ兼任講師
- 挨拶・吉田千秋  
元岐阜大学教授・哲ゼミ兼任講師

## 2019年4月20日 (土)

【時間】 午後2時→午後5時 (開場：1時30分)

【会場】 ウィンクあいち 5階小ホール  
(名古屋駅前・愛知県産業労働センター)

【定員】 300名 お早めにお申し込みください

申し込み・連絡先：TEL&FAX052-712-0706

(名古屋哲学セミナー事務局)

【メール】 nagotetu@nifty.com 【振込先】 郵便振込口座00840-4-27372「名古屋哲学セミナー」

参加券  
1000円  
学生・障がい者  
500円

